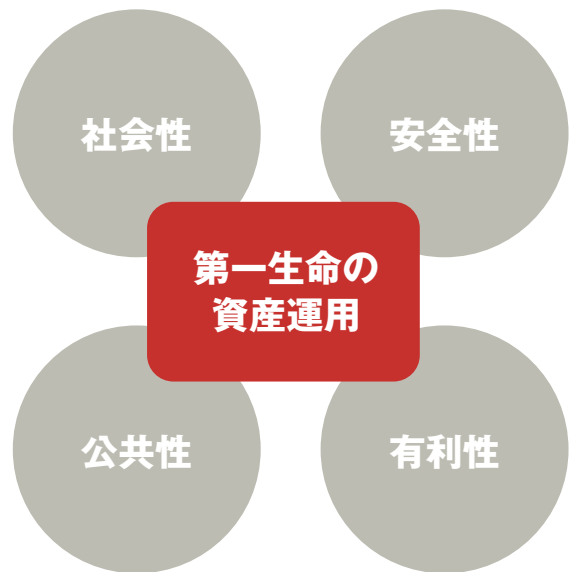


社会に果たす責任

金融機関としてのCSR

金融機関としての責任ある資産運用

第一生命は、約31兆円の資産を運用する金融機関として、融資や株式・債券などへの投資を通じて、お客さまからお預かりした保険料を国や地方公共団体、産業界に拠出する金融仲介機能を担い、経済の健全な発展に寄与しています。具体的には、長期金融機関として、日本住宅公団（現・都市再生機構）への融資等を通じた日本の住宅事情への貢献、企業のさまざまな資金ニーズに対する融資、増資および社債引受や未上場企業への出資等を通じた、個別企業の成長・発展への貢献等が挙げられます。今後も、生命保険事業が持つ公共性と資産運用行動が経済全体に及ぼす影響力の大きさを認識し、安全性・有利性のみならず、社会性・公共性にも配慮した資産運用を心掛けてまいります。



環境に配慮した不動産投資

当社は不動産投資においても環境に配慮し、建築物の緑化や省エネ設備の導入により環境負荷を低減したビルの建築に取り組んでいます。また、既存の建物に大規模改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり、価値を高める「リノベーション」にも取り組んでいます。



梅新第一生命ビルディング
(平成19年10月竣工)

屋上緑化、太陽光発電、雨水利用など、建築物の環境性能を測るシステム「CASBEE（キャスビー）OSAKA2004」で最高ランク評価を取得しました。



リノベーション前 リノベーション後

Villa Vista
(東京都世田谷区)
(平成19年4月竣工)

環境負荷を減少させるため、古くなった社宅を壊さず改修することで賃貸マンションとして再生しました。

社会性の高い商品の迅速な開発・提供

今後も少子高齢化の進展が予想される日本社会では、自助努力による資産形成の重要性の高まりから、年金保険等の貯蓄性保険へのニーズが高まっています。第一生命が平成18年に設立した第一フロンティア生命保険株式会社では、変額個人年金保険等、変化する社会やお客さまのニーズに対応した商品・サービスをタイムリーに提供していきます。



第一フロンティア生命
第一生命グループ